

# 序章

# 西宮市のまちづくりと都市計画

- 1. 西宮市のまちづくりと都市計画の変遷 … 2
- 2. 都市計画について …… 7
  - (1) 都市計画とは …… 7
  - (2) 都市計画に定める内容 …… 8
- 3. 西宮市の都市計画 …… 11
  - (1) 北部地域の都市計画 …… 12
  - (2) 南部地域(JR以北)の都市計画 …… 13
  - (3) 南部地域(JR以南)の都市計画 …… 14

# 1. 西宮市のまちづくりと都市計画の変遷

2025年(令和7年)で市制100周年を迎える西宮市のまちづくりにおいて、これまで、都市計画制度は大きな役割を果たしてきました。

## ① まちづくりの変遷(市制施行～戦前)

西宮市は都市近郊の住宅地として発展してきました。このころから、「風致地区」や「夙川公園」など、今後の文教住宅都市としての発展につながる都市計画が定められています。

年表(市制施行～戦前)	
1924年8月 (大正13年)	阪神電車甲子園大運動場 (現・阪神甲子園球場)完成(鳴尾村)
1925年4月 (大正14年)	<b>市制施行により西宮町が西宮市となる</b>
1926年12月 (大正15年)	西宮北口駅～今津駅の開通により 阪急今津線が全通
1927年7月 (昭和2年)	阪神国道電車開通
1928年9月 (昭和3年)	旧市立図書館開館
10月	旧市庁舎開庁
1929年3月 (昭和4年)	関西学院が神戸から甲東村に移転 (昭和9年に大学開学)
7月	浜甲子園に甲子園娯楽場開設 (後に、浜甲子園阪神パークへ改称)
1930年 (昭和5年)	旧甲子園ホテル開業
1933年4月 (昭和8年)	武庫郡今津町・芝村・大社村を合併
4月	神戸女学院が神戸から甲東村に移転 (昭和23年に大学開学)
1934年7月 (昭和9年)	吹田～須磨間に省線電車(現・JR)開通、 甲子園口駅開業
1937年3月 (昭和12年)	夙川公園竣工
5月	阪急西宮球場開場(瓦木村)
1938年7月 (昭和13年)	阪神大水害
1941年2月 (昭和16年)	武庫郡甲東村を合併
1942年5月 (昭和17年)	武庫郡瓦木村を合併
1943年11月 (昭和18年)	阪神武庫川線武庫川駅～洲先駅が営業開始
1945年8月 (昭和20年)	阪神大空襲

## ○主なまちづくりや都市計画

### 阪神間モダニズム

明治末期から昭和初期にかけて、西宮では阪神・阪急・現在のJRの鉄道3路線、バス路線が敷設され、鉄道会社による沿線開発が盛んに行われました。西宮は、大都市・大阪から、「健康」をキーワードに「郊外生活」を楽しむ地域として数多くの開発地が提供され、豊かな自然環境と調和した高級住宅地のほか、温泉などの保養地や遊園地などの行楽地がつけられました。また、この時代には、著名人の邸宅や別荘が建てられ、「阪神間モダニズム」と呼ばれる近代的な芸術・文化・生活様式が形成されました。これらの住宅地は、文教住宅都市・西宮の礎となっています。

### 都市計画区域の決定

1927年(昭和2年)に西宮都市計画区域が決定されました。

### 風致地区

都市における水や緑などの自然的要素に富んだ良好で貴重な自然的景観(風致)を維持するため、六甲山麓部や夙川、武庫川周辺などが1937年(昭和12年)に風致地区に指定されました。

### 夙川公園(夙川河川敷緑地)

夙川公園は、都市計画事業(街路事業)としての認可を受けて整備が進み、1937年(昭和12年)に竣工しました。当時一般的であった河川敷を払い下げて事業費を捻出する方式を採用せず、一部に河川の両側約270mの居住者からの負担金をあて、堤防の松林を守り市民の憩いの場となるパークウェイ(公園道路)として整備しました。その後、区域変更等を行い、現在は夙川河川敷緑地として都市計画に定めています。

## ② まちづくりの変遷(戦後～旧都市計画法(1970.9))

戦災復興により都市基盤整備や市街地の発展が進みましたが、石油コンビナートの誘致計画を発端に都市環境の保全に対する議論が高まりました。1962年(昭和38年)の文教住宅都市宣言により、まちづくりと発展の方向性が明確に示されました。

### ○主なまちづくりや都市計画

年表(戦後～旧都市計画法)	
1949年4月 (昭和24年)	武庫川学院女子大学開学(鳴尾村)
1950年4月 (昭和25年)	聖和女子短期大学開学
1951年4月 (昭和26年)	武庫郡鳴尾村、有馬郡塩瀬村・山口村を合併
1958年9月 (昭和33年)	上ヶ原の学園地区が全国で2番目の文教地区に指定(建設省)
1960年8月 (昭和35年)	西宮沖埋立計画と日石誘致を発表
1961年11月 (昭和36年)	米軍甲子園キャンプ地跡に浜甲子園団地の建設始まる(昭和37年10月入居開始)
1962年1月 (昭和37年)	安全都市を宣言
9月	日石誘致白紙撤回表明
1963年1月 (昭和38年)	国道43号(第二阪神国道)開通
11月	<b>文教住宅都市を宣言</b>
1964年4月 (昭和39年)	甲子園短期大学・聖和女子大学開学
9月	名神高速道路西宮～尼崎間が開通
1965年4月 (昭和40年)	夙川学院短期大学開学
5月	平和都市を宣言
11月	市民体育館開館(現・中央体育館)
1966年4月 (昭和41年)	大手前女子大学開学
1967年3月 (昭和42年)	阪急神戸本線夙川～東川間が高架化
4月	市民会館開館、勤労会館開館
1968年5月 (昭和43年)	北山貯水池完成
8月	枝川浄化センター供用開始(し尿処理)
1969年4月 (昭和44年)	西宮市平左衛門町と尼崎市西昆陽字田近野を交換
1970年2月 (昭和45年)	枝川浄化センター供用開始(下水処理)
2月	阪神高速道路神戸・西宮線開通
3月	西国街道(国道171号)の拡幅工事完成

#### 戦災復興都市計画

太平洋戦争の空襲により、市街地の大半を焼失しましたが、戦後の戦災復興事業によって、都市計画道路の整備や土地区画整理事業を行い、都市の基盤整備を進めました。

#### 文教地区(特別用途地区)

西宮市には、昔から一部の資産家や企業が文化や芸術を育てるといった気風があり、「教育」の分野にも力が注がれてきました。昭和初期には関西学院や神戸女学院が上ヶ原地区に移転しました。1958年(昭和33年)には、上ヶ原地区が、全国で2番目の文教地区に指定されました。

#### 石油コンビナート誘致

1960年(昭和35年)、市は御前浜沖に石油コンビナートの誘致を発表しました。しかし、世論は「住宅都市としての性格を継続すべき」という意見と「工業化のまちへと転換すべき」という意見に大きく二分されました。結果、1962年(昭和37年)、市民や学識者、酒造業者をはじめとした環境保護を訴える多くの声により、石油コンビナートの誘致計画は白紙撤回されるに至りました。このことが一つの契機となり、翌1963年(昭和38年)の文教住宅都市宣言へのきっかけとなりました。

#### 文教住宅都市宣言

1963年(昭和38年)の文教住宅都市宣言により、まちづくりと発展の方向性が明確に示されました。先人が培ってきた良好な住宅地と恵まれた教育環境などを活かしたまちづくりの継続を改めて再確認するものとなりました。

#### 都市計画法の改正

高度経済成長を背景として、都市への人口流入に伴い都市内の環境悪化や、市街地の無秩序な膨張や拡散が課題となっていました。そこで1919年(大正8年)に制定された旧都市計画法を見直し、線引き制度や開発許可制度等の導入を骨格とし、都市のスプロールを防止し、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保するために、1968年(昭和43年)に新都市計画法が制定されました。

### ③ まちづくりの変遷(新都市計画法施行(1970.10)～昭和末(1989.1))

新都市計画法の施行により、西宮市においても市街化区域と市街化調整区域の区域区分が決定され、保全するエリアと市街化するエリアを明確化するとともに、市街化区域内においては、都市計画法に基づく市街地の整備が進みました。

年表(新都市計画法施行～昭和)	
1970年10月 (昭和45年)	新都市計画法施行による区域区分制度開始 (市街化区域、市街化調整区域の設定)
11月	兵庫県立甲山森林公園開園
1971年2月 (昭和46年)	新市庁舎開庁
4月	西宮市総合計画策定
1972年3月 (昭和47年)	山陽新幹線開業(市内通過)
4月	兵庫医科大学開学
1974年3月 (昭和49年)	阪神電鉄国道上甲子園駅～西灘駅が廃止
1975年3月 (昭和50年)	中央病院が林田町に新築移転
5月	阪神電鉄国道線の残部と甲子園線が廃止
10月	中国縦貫自動車道の吹田～落合が開通
1976年5月 (昭和51年)	武庫川団地の建設始まる (昭和54年3月入居開始)
1978年6月 (昭和53年)	山口町に阪神流通センター完成
11月	甲子園浜の干潟が鳥獣保護区に指定
1979年4月 (昭和54年)	東部総合処理センター供用開始(ごみ処理)
1982年7月 (昭和57年)	北山緑化植物園開園
1983年12月 (昭和58年)	平和非核都市を宣言
1984年3月 (昭和59年)	阪神本線甲子園駅～久寿川駅が高架化
1985年5月 (昭和60年)	総合福祉センター開設
7月	教育文化センター開設 (中央図書館・郷土資料館・市民ギャラリー)
1986年3月 (昭和61年)	市民会館ホールを全面改修し、 愛称をアミティホールに決定
3月	勤労者体育館完成
4月	西宮市新総合計画策定
11月	国鉄西宮名塩駅開業
1988年4月 (昭和63年)	水道局新庁舎開庁
5月	万葉植物苑(西田公園内)開苑
7月	なるお文化ホール(西宮東高校ホール)開館

### ○主なまちづくりや都市計画

#### 新都市計画法(現行)の施行

##### ■区域区分

区域区分制度は、新都市計画法により新たに創設された制度です。無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図る為、市街化区域と市街化調整区域の区域区分を定めています。

##### ■用途地域

用途地域制度は、市街化区域を区分し、建築物の用途、形態などを適正に誘導することにより、住環境を守り、商工業の都市機能を維持増進させるために定める制度です。これまで建築基準法で指定されていた用途地域は、都市計画法で指定することになりました。本市では、1973年(昭和48年)に、7種類の用途地域が指定され、あわせて初めて容積率も指定されました。その後法改正により用途地域が細分化され、現在本市で11種類の用途地域を指定しています。

##### ■高度地区

高度地区は、建築物の高さの最高限度や最低限度を定めることにより、市街地の環境維持や土地利用の合理的な増進を図るため定めるものです。本市では、1970年(昭和45年)から高度地区を指定しています。

#### 北部地域の開発

北部地域では、昭和50年代後半から名塩ニュータウンや北六甲台、すみれ台などの郊外型住宅地開発が進みました。これらの団地は、この時代においてゆとりある住環境を市民へ提供するとともに、市の人口増加にも寄与しました。

#### 地区計画制度の創設

地区計画は1980年(昭和55年)の都市計画法改正により創設された制度で、地区特性に応じた良好な環境を整備、保全するため、住民等が主体となり、地区レベルの土地利用の方針や制限事項等を定めるものです。本市においては、1986年(昭和61年)に、北六甲台地区において初めての地区計画が決定され、2022年(令和4年)12月末時点では、市内の38地区において地区計画が定められています。



## ④ まちづくりの変遷(平成元年(1989.1)～中核市移行前(2008.3))

昭和時代に引き続き、都市開発や都市基盤整備が行われていましたが、1995年に発生した阪神・淡路大震災により、震災復興がまちづくりの喫緊の課題となり、復興事業の完了までに10年以上の歳月を費やすこととなりました。

年表(平成元年～中核市移行前)	
1990年11月 (平成2年)	塩瀬センター開設(塩瀬支所・北部図書館・塩瀬公民館・水道局北部出張所・老人いこいの家・児童センター)
1991年3月 (平成3年)	西宮北有料道路、盤滝トンネル開通
10月	西宮名塩ニュータウン街びらき
1992年4月 (平成4年)	西宮浜産業交流会館(NICC)開館
1994年4月 (平成6年)	阪神高速道路5号湾岸線開通
4月	フレンテ西宮開業 (フレンテホール・ギャラリーフレンテ・国際交流協会)
1995年1月 (平成7年)	兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)
12月	阪急今津駅が高架化
1996年10月 (平成8年)	アプリ甲東開業 (甲東支所・甲東ホール・図書館分室・共同利用施設)
1997年7月 (平成9年)	西部総合処理センター供用開始(ごみ処理)
1998年1月 (平成10年)	西宮震災記念碑公園開園 (西宮市犠牲者追悼之碑整備)
3月	西宮マリナパークシティ(西宮浜)街びらき
1999年4月 (平成11年)	第3次西宮市総合計画策定
2000年4月 (平成12年)	保健所設置市に移行し西宮市保健所開設
10月	プレラにしのみや開業(プレラホール・中公民館・男女共同参画センターウェーブ)
2001年3月 (平成13年)	阪神本線久寿川駅～芦屋市境間を高架化
4月	アクタ西宮開業(東館:北口図書館・北口ギャラリー・大学交流センター、西館:北口市民サービスセンター・北口保健福祉センター・消費生活センター)
2002年3月 (平成14年)	西宮競輪、甲子園競輪が終了
5月	山手大橋開通(甲子園口北町～尼崎市)
8月	第1次西宮市都市計画マスタープラン策定
2003年12月 (平成15年)	環境学習都市を宣言
2005年10月 (平成17年)	兵庫県立芸術文化センター開設
2007年3月 (平成19年)	JRさくら夙川駅開業、 JR西ノ宮駅がJR西宮駅に改称
12月	阪神西宮駅南駅前広場開設
2008年3月 (平成20年)	山手幹線が市内全通

## ○主なまちづくりや都市計画

## 生産緑地法の改正

1991年(平成3年)に生産緑地法が改正され、市街化区域内の農地は「宅地化農地」と「保全農地(生産緑地)」の区分が明確化されることとなりました。これを受けて、本市においては、1992年(平成4年)10月に、「生産緑地地区」の都市計画決定を行いました。市内において農地の宅地化が進む中、保全する農地として位置付けられた「生産緑地地区」は2022年(令和4年)12月末時点も約70ha残っており、貴重な都市の緑地空間として維持されています。

## 阪神・淡路大震災

1995年(平成7年)1月17日、阪神・淡路大震災に見舞われました。震度7の大きな地震によって、1,100人を超える尊い命が失われ、61,000世帯以上が全・半壊するという大惨事となりました。

## 震災復興と都市計画

市はいち早く復興を図るために、1995年(平成7年)1月31日に災害市街地復興基本方針を策定し、森具地区、阪神西宮駅南地区、JR西宮駅北地区及び阪急西宮北口駅北東地区の4地区を、被害が集中し安全性の確保が必要な地区として土地区画整理事業、市街地再開発事業等による重点面整備事業地区に指定しました。6月には「西宮市震災復興計画」を策定し、市民生活の再建とまちの復興に向け、本格的に取り組むこととなりました。「西宮市震災復興計画」は、「第3次西宮市総合計画」に引き継がれることとなり、震災関連事業として、「西宮北口駅北東地区」、「森具地区」などの震災復興土地区画整理事業や「阪神西宮駅南第一地区第一種市街地再開発事業」などのさまざまな都市計画事業が、災害に強く、安全な市街地の復興のために施行されました。2008年(平成20年)10月31日に「西宮北口駅北東震災復興土地区画整理事業」が完了したことにより、本市における復興事業がすべて完了しました。

## 山手幹線(都市計画道路)の市内全通

震災後、未整備となっていた区間において、順次事業に着手し、2008年(平成20年)3月に、市内全線の開通を迎えました。

## ⑤ まちづくりの変遷(中核市移行(2008.4)～現在まで)

震災復興事業が完了し、中核市に移行した2008年以降は、急増していた人口の増加も鈍化し、今後の人口減少や高齢化の進展、市街地の更新等を見据えた都市づくりについての検討がはじまりました。

年表(中核市移行～現在)	
2008年4月 (平成20年)	<b>中核市に移行</b>
8月	西宮浜総合グラウンド開設
2009年4月 (平成21年)	第4次西宮市総合計画策定
4月	山口センター開設 (山口支所・山口ホール・山口保健福祉センター・山口公民館・図書館分室・老人憩いの家・児童センター)
4月	さくらやまなみバス開業
2010年12月 (平成22年)	阪急今津線西宮北口駅～今津駅が高架化
2011年3月 (平成23年)	東日本大震災
4月	<b>第2次西宮市都市計画マスタープラン策定</b>
2012年6月 (平成24年)	甲陽園目神山地区が都市景観大賞受賞
12月	東部総合処理センターの焼却施設が竣工
2015年2月 (平成27年)	アサヒビル西宮工場跡地の一部を西宮土地開発公社が購入(市・県統合病院候補地に)
7月	国道176号名塩道路名塩工区(バイパス1.4Km)完成
9月	市立子ども未来センター開所(西宮市立わかば園と西宮市スクーリングサポートセンターを移転・再編)
2016年4月 (平成28年)	高木北小学校開校(留守家庭児童育成センター及び地域子育て支援施設を併設)
2017年3月 (平成29年)	阪神本線甲子園～武庫川駅間が高架化
2018年4月 (平成30年)	市立芦原むつみ保育所・むつみ児童館開所(保育所・児童館の統合施設)
2019年4月 (平成31年)	第5次西宮市総合計画策定
2019年7月 (令和元年)	<b>西宮市立地適正化計画策定</b>
2020年4月 (令和2年)	市内初の小中一貫校、西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校開校
2021年4月 (令和3年)	西宮浜総合公園にみやっこキッズダム開設
4月	市役所第二庁舎(危機管理センター)開庁
6月	今津の六角堂が都市景観形成建築物指定(県の景観形成重要建造物指定は3月)

・

2025年4月  
(令和7年)

西宮市制100周年

## ○主なまちづくりや都市計画

### 近年のまちづくりの取組

#### ■景観まちづくり

本市では1988年(昭和63年)に「西宮市都市景観条例」を制定し、景観行政を進めてきました。2004年(平成16年)には「景観法」が制定され、全国的にも景観まちづくりが進められることになりました。また、2009年(平成21年)に景観計画を策定し、景観法に基づく景観行政を開始しました。2012年(平成24年)には、甲陽園目神山地区が「都市景観大賞」を受賞、2020年(令和2年)には、関西学院周辺景観地区が指定されるなど、西宮らしい景観を形成するための取組が積極的に進められています。

#### ■新たな地域交通

##### <さくらやまなみバス>

山口地区と南部市街地を直接連絡する基幹交通として、2009年(平成21年)4月1日から運行を開始しました。これにより、山口地区から乗り換えなしで南部地域まで行くことが出来るようになり、山口地区の活性化や各地域間のさまざまな交流が促進されるなど、西宮のまちづくりに大きく貢献しています。

##### <ぐるっと生瀬>

生瀬地区における生活移動手段の確保のため、地域住民が主体のコミュニティ交通として、2015年(平成27年)10月1日から運行を開始しました。高齢者等の外出機会を創出するとともに、住民目線に立った利便性の高い持続可能な運行を目指した取組は、生瀬地区の活性化に貢献しています。

### 新たな時代の都市計画(立地適正化計画制度の創設)

人口減少・超高齢化の時代を見据え、公共交通を中心に持続可能な都市を目指したコンパクトシティプラスネットワークの取組が進められています。2014年(平成26年)には、「立地適正化計画」の制度が創設されました。本市においては、2019年(令和元年)7月に「西宮市立地適正化計画」を策定しています。

### 都市計画施設のリニューアル

都市計画施設を新たに整備する場合に加え、バリアフリー化や耐震化、老朽化対策などの改修事業でも、都市計画事業として実施できるようになりました。本市では、都市計画道路のリニューアルを都市計画事業として進めているほか、令和3年には、全ての市立義務教育諸学校(小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校)を都市計画に定め、都市計画事業として計画的な施設改修及び建替えを進めています。

## 2. 都市計画について

### (1) 都市計画とは

都市計画とは、都市の健全な発展と秩序ある整備を目的に、健康で文化的な生活、機能的な都市活動を確保しつつ、合理的な土地利用を図るために定めるもので、都市計画には、市街化区域と市街化調整区域を区分する「**区域区分**」、用途地域等の土地利用のルールを定める「**地域地区**」、都市の骨格を形成する都市基盤施設(道路、公園、下水道など)を定める「**都市施設**」、市街地を面的・計画的に開発整備する計画を定める「**市街地開発事業**」などがあります。

また、都市計画を定める区域として「都市計画区域」が指定されており、西宮市は、**市域全体が「阪神間都市計画区域」に指定されています。**

#### < 都市計画の適用までの流れ >

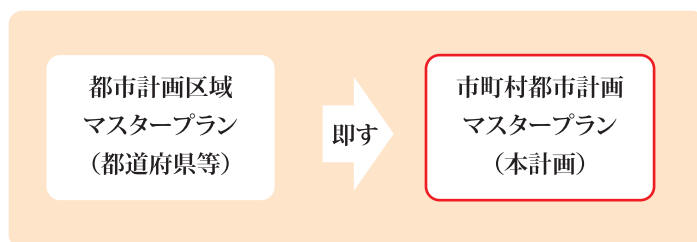
##### ① 都市計画を定める範囲を決める



##### 阪神間都市計画区域

阪神間の7市1町が阪神間都市計画区域に指定されています。

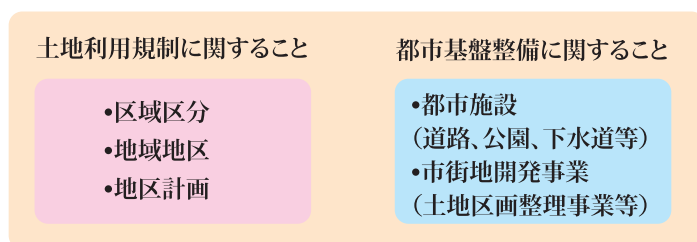
##### ② 都市計画の方針を決める



##### 都市計画マスタープランとは

都市の将来像(目的・目標)や都市計画を定める方針を決める計画

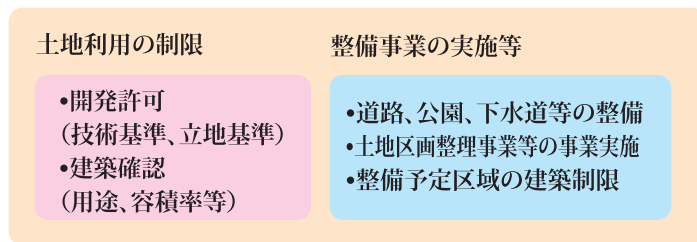
##### ③ 都市計画を決定する



##### 都市計画の決定手続き

都市計画法に基づき、住民意見反映手続きや、都市計画審議会への付議を経て、都市計画に定められることとなります。

##### ④ 都市計画を適用する



##### 都市計画の適用

定められた都市計画は、都市計画法や関連法令により、実効性が担保され、土地利用規制や整備事業が施行されます。

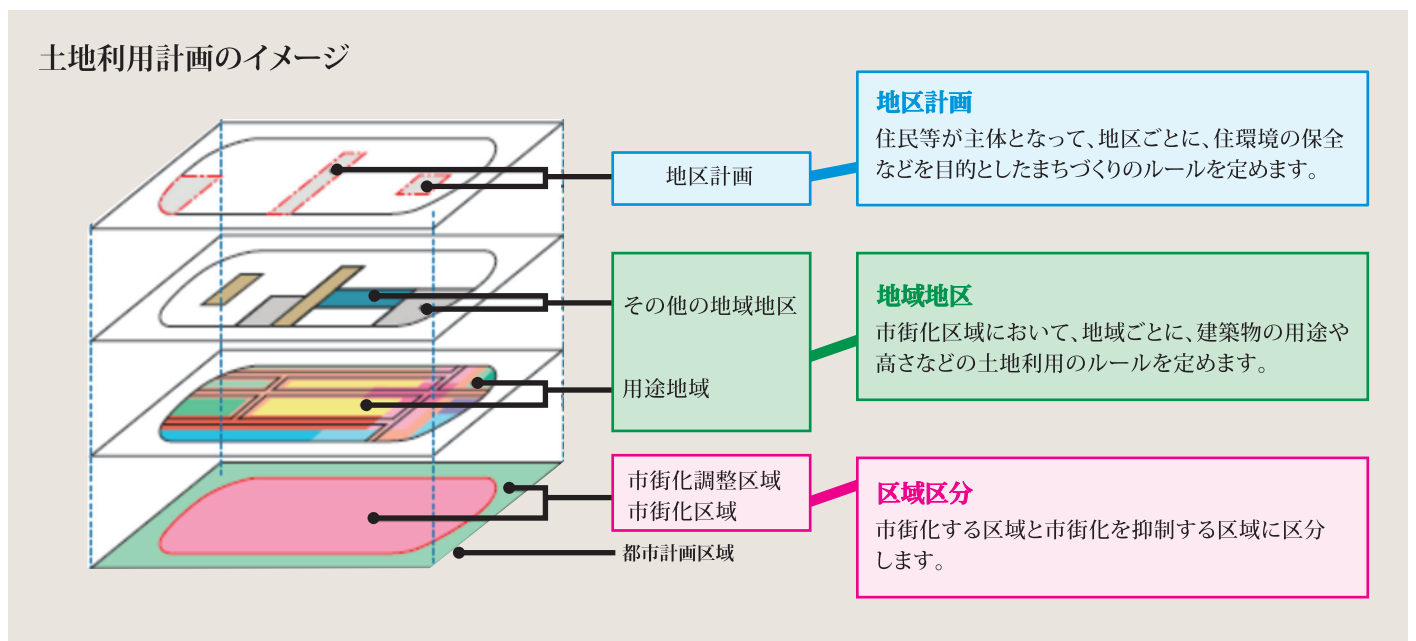
## (2) 都市計画に定める内容

### ① 土地利用

土地を開発する場合や建築する場合には、都市計画で定める土地利用のルールに従って行為を行う必要があります。本市では、区域区分制度により、市街化区域と市街化を抑制する区域に分けられています。

さらに、市街化区域内では、地域地区の1つである用途地域が基本として指定され、住宅、商業、工業などの土地利用のルールが決められるほか、場所によっては、用途地域以外の地域地区の制限(風致地区、高度地区など)や地区計画の制限が上乗せされています。

これらの都市計画が指定されている土地において、開発行為や建築行為などの土地利用にあたっては、都市計画で定められたルールに従う必要があります。



### 土地利用の制限例

#### 甲陽園目神山町



#### 都市計画で定められた制限

- 市街化区域(区域区分)
  - 第1種低層住居専用地域(用途地域)
  - 第1種高度地区(その他の地域地区)
  - 風致地区(第2種)(その他の地域地区)
  - 甲陽園目神山地区(地区計画)
- など

#### 西宮市役所周辺



#### 都市計画で定められた制限

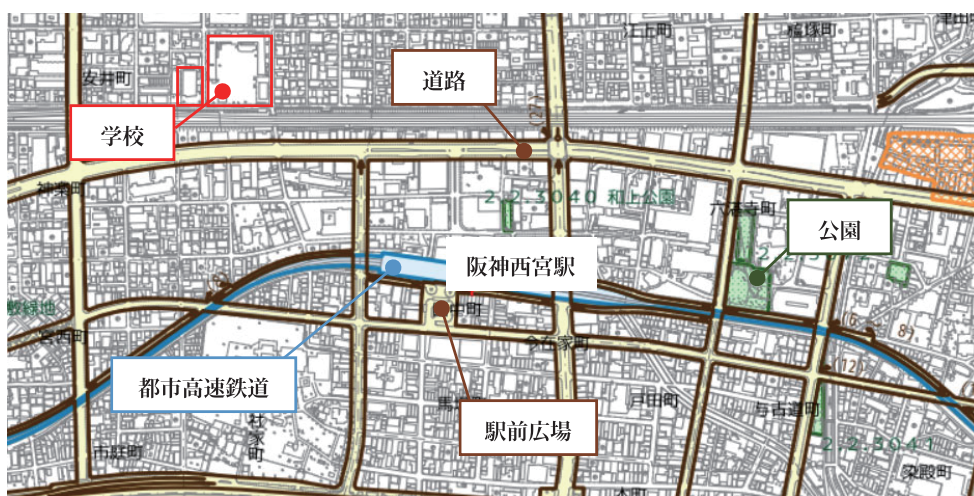
- 市街化区域(区域区分)
  - 商業地域(用途地域)
  - 第9種高度地区、第10種高度地区(その他の地域地区)
  - 防火地域、準防火地域(その他の地域地区)
- など



## ②都市施設

都市施設とは、都市の骨格を形成する道路、公園、下水道などの施設のことで、円滑な都市活動を支え、都市生活者の利便性の向上、良好な都市環境を確保するうえで必要な施設となります。

都市計画では、これら都市施設のうち必要なものを都市計画に定めるものとし、都市計画に定めた施設を都市計画施設と言います。都市計画に定められた都市計画施設の区域内では、将来の事業が円滑に実施できるよう建築物の建築などに対して一定の制限が定められています。



都市計画施設の例(阪神西宮駅周辺)

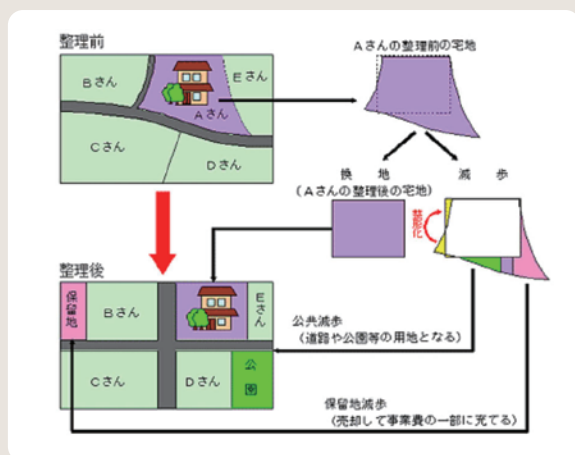


### ③市街地開発事業

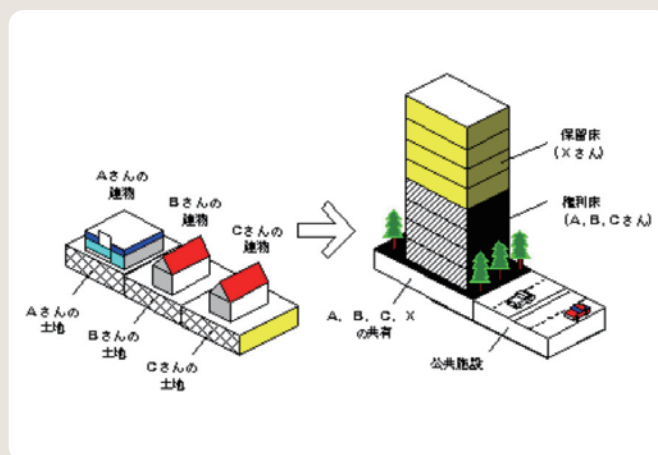
総合的な計画に基づいて公共施設の整備とあわせ、宅地や建築物の整備を行い、面的な市街地の開発を積極的に図ろうとするものです。

都市計画に位置づけられる市街地開発事業には、土地区画整理事業、新住宅市街地開発事業、工業団地造成事業、市街地再開発事業、新都市基盤整備事業、住宅街区整備事業、防災街区整備事業があり、その種類、名称、施行区域等を都市計画に定めることとなっています。

この都市計画で定められた施行区域において行われる市街地開発事業は、都市計画事業として行われ、公共性の高い事業として強力に推進する必要があることなどから、事業地においては、建築行為や土地建物の権利移動などに対し、都市計画制限と同等の制限や、さらに強化された制限が課せられることとなります。



土地区画整理事業のイメージ



市街地再開発事業のイメージ

### 3. 西宮市の都市計画

西宮市においては、2022年(令和4年)3月末時点で、下記の都市計画を定めています。

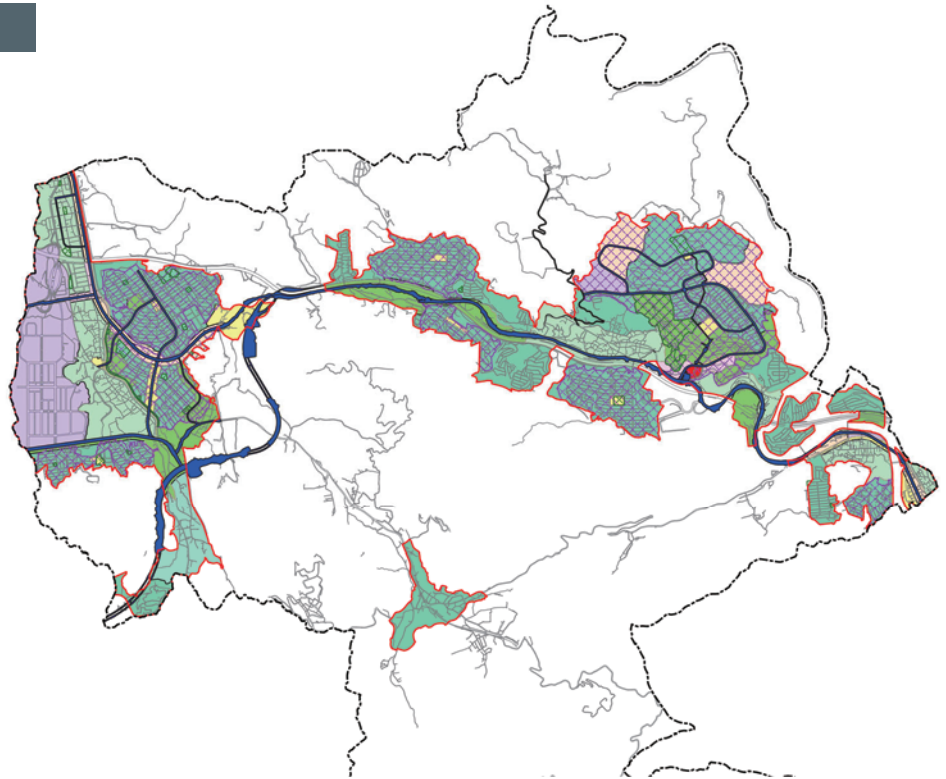
#### 都市計画



## (1) 北部地域の都市計画

### 凡例

- 市界
- 市街化区域
- 都市計画道路
- ▨ 都市計画公園
- ▨ 地区計画等
- 用途地域
- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域



### 都市計画概況

北部地域は、区域区分により、六甲山系や北摂山系などの自然環境が保全されている市街化調整区域と古くからの集落や計画的に造成された住宅地などで構成される市街化区域に区分されています。市街化区域内においては、「生産緑地地区」や「都市計画公園・緑地」などが多く存在し、ゆとりある住環境が形成されています。また、新たに開発された住宅団地においては、事業にあわせて「地区計画」が定められ、良好な住環境が維持されています。また、北部地域の開発の進展とともに、JR西宮名塩駅が開業したほか、国道176号名塩道路の拡幅整備が進められています。

### 都市計画の紹介

#### 阪神流通センター



#### 関連する都市計画

- 流通業務団地
- 流通業務地区

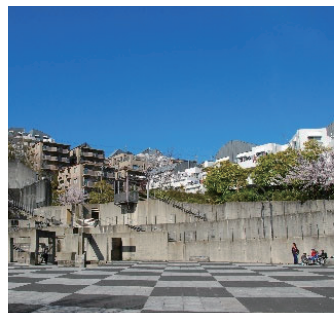
#### 有馬川緑道



#### 関連する都市計画

- 都市計画緑地

#### 名塩ニュータウン



#### 関連する都市計画

- 新住宅市街地開発事業
- 地区計画

#### 国道176号 名塩道路



#### 関連する都市計画

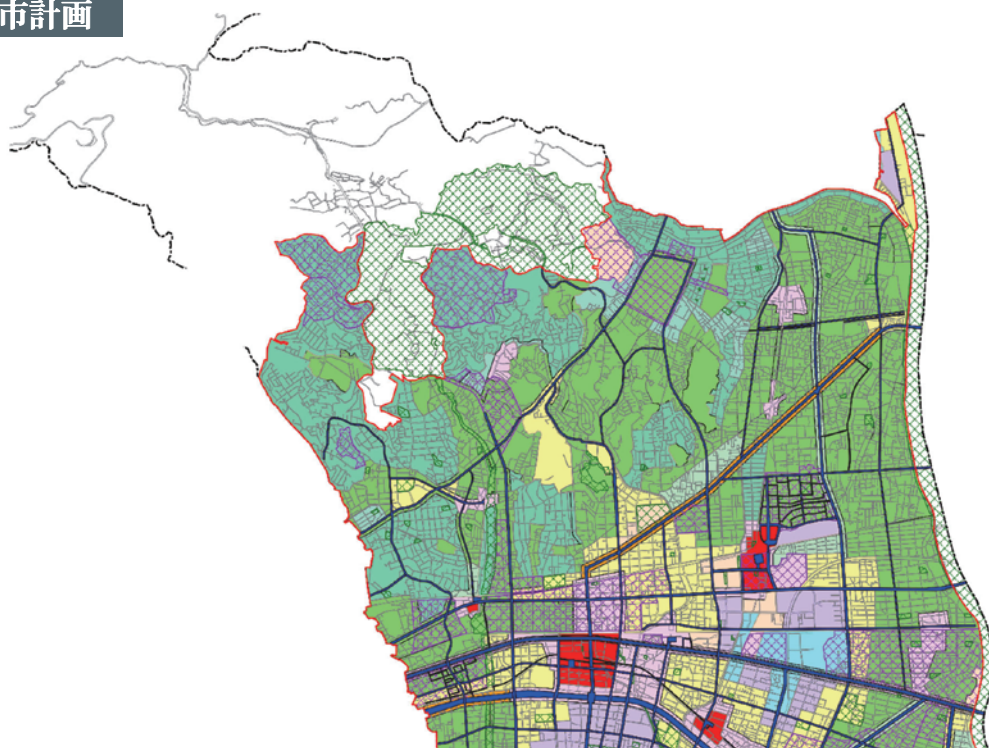
- 都市計画道路



## (2) 南部地域(JR以北)の都市計画

### 凡例

- 市界
- 市街化区域
- 都市計画道路
- ▨ 都市計画公園
- ▩ 地区計画等
- 用途地域
- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域



### 都市計画概況

南部地域(JR以北)は、六甲山系の南端付近で区域区分が設定され、甲山などの山林や鷲林寺などの地区が市街化調整区域となっています。市街化区域内の山麓部、丘陵部においては、第一種低層住居専用地域や風致地区などの土地利用規制や夙川河川敷緑地の整備などにより、緑豊かな市街地環境が保全されています。平坦部では、都市的な土地利用が進展しており、特に、本市の都市核となる阪急西宮北口駅周辺は、震災復興にあわせて、拠点的な土地の利用が進みました。また、震災復興に伴い、市街地再開発事業や都市計画道路山手幹線の整備などが行われ、都市基盤の整備が進みました。

### 都市計画の紹介

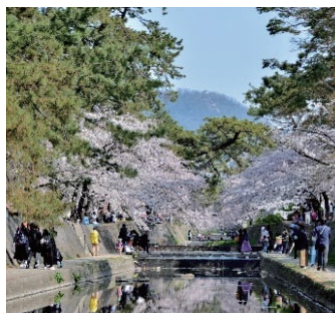
#### 関西学院周辺地区



#### 関連する都市計画

- 景観地区
- 地区計画

#### 夙川河川敷緑地



#### 関連する都市計画

- 都市計画緑地

#### 西宮北口南地区



#### 関連する都市計画

- 土地区画整理事業
- 市街地再開発事業
- 地区計画

#### 山手幹線



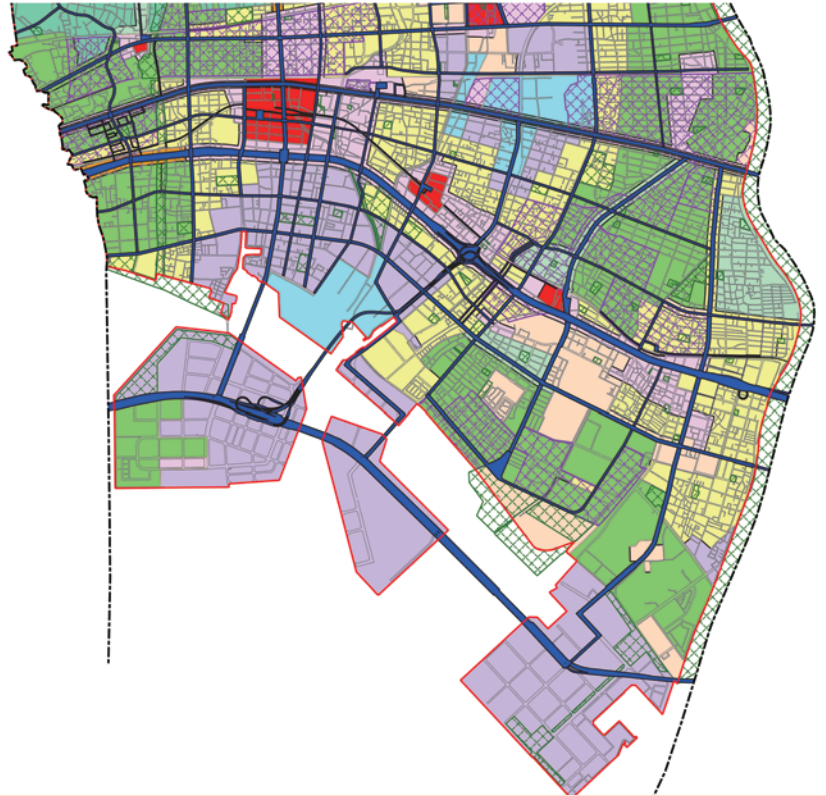
#### 関連する都市計画

- 都市計画道路

### (3) 南部地域(JR以南)の都市計画

#### 凡例

- 市界
- 市街化区域
- 都市計画道路
- 都市計画公園
- 地区計画等
- 用途地域
- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域



#### 都市計画概況

南部地域(JR以南)は、自然海浜や武庫川を除き、ほとんどが市街化区域となっています。このエリアは、門前町や伝統的産業地(酒蔵地区)、主要な街道が整備されるなど古くから市街地として発展してきました。その後、都市の近代化が進む中、道路、鉄道などの都市交通網の発達により、西宮市の中心的な市街地として、発展を遂げています。また、戦後、臨海部では、浜甲子園団地や武庫川団地などの新たな住宅団地の整備が進められ、公有水面の埋立てにより、大規模な公園、臨海産業地区(特別用途地区)に指定されている産業地及び中高層の住宅地など新たな市街地が形成されています。

#### 都市計画の紹介

##### 国道2号



##### 関連する都市計画

- 都市計画道路
- 防火地域

##### 阪神本線連続立体交差事業



##### 関連する都市計画

- 都市高速鉄道

##### 武庫川団地



##### 関連する都市計画

- 一団地の住宅施設

##### 甲子園浜



##### 関連する都市計画

- 市街化調整区域